

民主党神戸市会議員団 活動報告

この1年の調査活動を振り返って

私たち民主党神戸市会議員団は、福祉、医療、教育、環境など多岐に及ぶ課題の解決に向けて昨年4月から今年の2月までの約1年、調査活動や行政視察を実施して参りました。ここに全てをご紹介しますことはできませんが、これらの活動を活かしなが、私たちは、協働と参画の精神のもと、市民のみならずととも「安全で安心なまちづくり」に向け、引き続き取り組んで参ります。今後とも、更なるご支援とともに市政へのご意見・ご要望を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

佐久総合病院（長野県佐久市） 平成21年1月

長野県東部の佐久市に位置するJA長野厚生連・佐久総合病院がカバーする地域は、高齢化率30%を越える超高齢化地域ですが「低医療費で長寿」のケア活動が実践されている地域の基幹病院です。1988年から24時間体制の在宅ケア活動が開始され、現在は医師7名、在宅訪問診療に357名が登録しています。月1回のペースで担当医が訪問するほか、必要に応じて、眼科、皮膚科、形成外科などの専門科医による訪問診療も実施しています。1983年に国と県から救命救急センターに、1997年には災害拠点病院に指定されました。2005年に信州ドクターヘリの運用を開始し(全国で10番目)、医師・看護師が常時待機し、要請があれば2~3分以内に離陸、現場に急行し、すぐに治療にあたる事ができます。病院開設から60年以上を越え、昨今の医療ニーズに応えるため再構築が計画されています。神戸市における地域医療のあり方や、新病院建設に伴う各病院の役割分担など、諸課題を再確認する機会となりました。

医療
福祉



新型インフルエンザ対策・国立感染症研究所 感染症情報センター 平成21年1月

国立感染症研究所 感染症情報センター 大日主任研究官にお越しいただき、新型インフルエンザ対策についての勉強会を実施しました。通常のインフルエンザは、30%強の人が毎年予防接種を受けており、残りの既に免疫を持っている人を含めると半分くらいが免疫を持っていますが、新型インフルエンザは誰も免疫を持っていません。いかに感染者を早く発見し、感染拡大を防ぐかが重要です。大日主任の示された新型インフルエンザの被害シミュレーション「有病者の発生曲線」からは、学校閉鎖と通勤の20%外出自粛によって有病者全体の数と共に、有病者のピーク曲線を抑えることが可能と示されました。電話診療の充実(発熱外来の設置は却って罹患者を増やす)、県全体での学校閉鎖、在宅勤務の推奨(泊り込み勤務の検討なども)、薬局サーベイランス(オンライン化が進んでいる薬局で感染症の発生状況を調査・集計すること)などが検討されているとのことでした。

医療



教育 食育 水木小学校（神戸市兵庫区） 平成20年7月

子どもたちの地域の農業への理解や食べ物に対する感謝の気持ちを育む、望ましい食習慣を育てるための「食育」に欠かせない小学校給食の現場を視察しました。平成19年度に誕生した栄養教諭を配置した「食育実践校」で給食の献立の工夫、指導方法などを伺い、実費を支払い、教室で試食いたしました。一食の献立の中にも含まれる食品数の多さもさることながら、調理方法の工夫や、教室での食材についてのクイズなど、子どもたちに興味を持たせる様々な取り組みがされていることを実感しました。家庭でも「食育」を心がけたいものです。



「獲る漁業」から「育てる漁業」へ・神戸市立栽培漁業センター 平成20年9月

本センターは、地域沿岸漁業の振興と、地域沿岸の水産資源を豊かにすることをめざして、本市海域に適した定着性のある魚類の種苗生産と中間飼育を行い、一定の生育を経て魚類の放流を行っています。活鮮魚を安定的に供給し、沿岸漁業の活性化を図っていくため、従来の「獲る漁業」から「育てる漁業」への転換に取り組んでおり、年間38万尾以上の放流を計画的に行っています。本施設を見学者に開放し、社会教育の場を提供していることでセンターの価値を高めています。

産業



耐震補強工事・神戸市立垂水小学校 平成20年9月

神戸市では、あの阪神淡路大震災の時小学校や中学校が避難所となり、一時的に市民の生活の場となりました。市はこの経験を踏まえ全国に先駆けて、平成17年から10年計画で耐震化率100%をめざし、実際は前期5年で80%の達成をめざして取り組んでいます。垂水小学校は、平成17年12月から19年2月までの間に北棟・本館を合わせて延面積6,938平方メートルの補強工事を行い、工事費用としては、仮設校舎の建設も含めて約3億9,200万円かかりました。垂水小学校の耐震補強の特徴としては、体育館の内側から中付けブレースで南北に大きく補強しています。このことにより、体育館側壁部分が以前は、壁しかなかったところが新しくアルミサッシを広く取り付けることができ、明るく開放的になりました。各教室もブレースのデザインに工夫を施し、明るく開放的な窓になっています。廊下側の壁にも耐震壁を内側に埋め込み補強しています。また、耐震補強工事に伴い改修工事も行われ、屋上の防水工事、校舎外壁の改修、床や天井の内部改修、便所の改修、アルミサッシなどの建具改修をしていました。

教育
耐震



次世代低床車両SWIMOの試乗・川崎重工業 播磨工場 平成20年9月

川崎重工業が開発したSWIMOは、同社が独自に開発した高性能車載用大型ニッケル水素蓄電池ギガセルを備え、5分間の急速充電で10kmの架線レス走行を可能とする。低床の客室床面積を従来のLRVに対して大幅に広げることで、人に優しいリアフリーを実現した次世代路面電車(LRV)です。通常の電車と異なり、ブレーキ時の回生電力を電池に充電し、蓄えたエネルギーを走行時に有効活用することでエネルギー効率を飛躍的に高め、さらに地球にやさしい省エネ電車となっています。また架線が必要ないため、都市景観にも優れています。*SWIMO…(Smooth)スマートな非電化区間、(Win)直通運転を達成(MOver)移動手段というコンセプトによる愛称です。

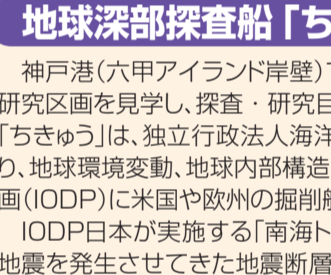
環境



環境 生ゴミ分別収集モデル事業・千葉市 平成20年4月

ほとんどの自治体では、生ゴミは、可燃ごみとして、紙その他の可燃ごみと一緒に焼却処分されています。千葉市のように生ゴミを発酵させてガス化して取り出し、利用している自治体は全国でも珍しいのではないかと思います。生ゴミのバイオガス化の難しさは、市民の分別への協力が得られるかどうかです。また、一度発酵が済んでいる下水の消化ガスとは違って、生の状態のもの、毎日、組成もいろいろと変化して出されることなど、生き物の微生物に、いかに効率よく発酵してもらえ、更に、残渣の最終処分が効率よくできるか、などの課題があります。市民は分別収集には、大変協力的で、分別でのトラブルは少ないというところですが、ここでは、大規模な廃棄物処理が行える「千葉リサイクルセンター」が隣接しており、前述の残渣も、隣接のこのセンターでガス化溶解され、問題なく処理できています。更に、取り出されたバイオガスは、JFEの製鉄所に売却できるというメリットも重なり、大変うまく循環しているようです。

防災



生ゴミだけを指定の黄色の袋で出してもらい、この黄色の袋だけをバイオガスセンターに持ち込む

地球深部探査船「ちきゅう」 平成21年2月

神戸港(六甲アイランド岸壁)で地球深部探査船「ちきゅう」の操舵室や掘削設備・研究区画を見学し、探査・研究目的などを伺いました。「ちきゅう」は、独立行政法人海洋研究開発機構に所属し、深海底を掘削することにより、地球環境変動、地球内部構造、地殻内生命圏等の研究を行う国際深海掘削計画(IODP)に米国や欧州の掘削船とともに参加しています。IODP日本が実施する「南海トラフ地震発生帯掘削計画」は、科学史上初めて巨大地震を発生させた地殻断層に向けて掘削し、地震発生のキーとなる岩石試料の採取と現場でのデータ観測を試みる壮大な科学計画です。高くそびえる掘削設備は、泥水を利用するライザー掘削という従来とは違った方法を採用しており、海底下7000メートルまでの掘削を可能にしたとのこと。説明からは「ちきゅう」による調査活動は様々な危険を伴うことが明確となってまいりました。「ちきゅう」による調査の無事遂行と地震発生のメカニズムの解明を心から願いたいと思います。



掘削用やぐら 掘削の先端部分

http://www.kobe-minshu.jp/

予算特別委員会を開催中

平成21年度当初予算及び関連議案について、2月26日に民主党神戸市会議員団は、さきもと祐治議員(須磨区)、平木ひろみ議員(中央区)が、矢田市長に対して予算編成方針等について、会派を代表して質疑を行いました。その後、3つの分科会の設置がされ、各局別の審査を行っています。各分科会のメンバーと今回提案されている予算関連の主要施策を記載しています。



神戸市会インターネット 検索

平成21年 第1回 定例会の動き

2月20日 本会議(開会) ・会期決定 ・20年度補正予算等議案の提案及び質疑 ・21年度当初予算の提案	2月23日24日 常任委員会 ・20年度補正予算等の議案及び請願・陳情の審査
2月26日27日 本会議 ・20年度補正予算等議案の採決 ・21年度当初予算案に対する会派代表質疑	3月2日~16日 予算特別委員会 ・21年度当初予算・関連議案の各局別審査及び総括質疑 ・各会派からの予算案に対する意見表明及び委員会の意見決定
	3月18日 本会議
	3月19日23日24日 常任委員会
	3月26日 本会議(閉会)

代表質疑の模様はインターネットで配信しております

第1分科会 行政財政局 危機管理室 市民参画推進局 教育委員会 企画調整局 国際文化観光局

- 前島 浩一 (西区) 藤原 武光 (垂水区)
- 池田 りんたろう (北区) 副委員長 橋本 秀一 (西区)
- 川内 きよなお (垂水区) 岩田 よしあき (西区)

- ◆ デザイン都市・神戸の実現にむけた取り組み 関連予算31億円
- ◆ うるおいのある文化創生のまちづくり 関連予算6億円
- ◆ 協働と参画のまちづくりの充実 関連予算45億円

- ・次期基本計画の策定
- ・危機管理センターの建設
- ・医療産業クラスター実現のためのグランドデザイン構築
- ・次世代スーパーコンピューターの整備支援等
- ・「デザイン都市・神戸」の発進・交流
- ・市政120周年プランの展開(地域経済の活性化など)
- ・(仮称)地域活動統合助成金のモデル実施
- ・新学習指導要領への対応
- ・神戸マラソン実施のための調査
- ・神戸観光の魅力発信強化
- ・神戸ビエンナーレ2009開催
- ・北神急行電鉄運賃低減支援



第2分科会 建設局 保健福祉局 環境局 水道局

- 荻阪 伸秀 (長田区) さきもと 祐治 (須磨区)
- 理事 川原田 弘子 (垂水区) よこはた 和幸 (東灘区)
- 大寺 まり子 (兵庫区) 平木 ひろみ (中央区)

- ◆ 子育て支援の充実 関連予算809億円
- ◆ 暮らしの安心確保と福祉・医療の充実 関連予算1642億円
- ◆ 環境にやさしいまちづくりの充実 関連予算110億円

- ・保育所待機児童の解消と学童保育の過密解消など
- ・発達障害に対する相談窓口の設置など支援の充実
- ・介護保険料の軽減
- ・小児科初期救急拠点実施調査
- ・妊婦検診の公費助成拡充
- ・乳幼児等医療費助成の入院助成対象拡大
- ・2次救急医療体制の支援拡充など
- ・住宅用太陽光発電システム設置補助制度の創設
- ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進
- ・生物多様性神戸戦略の策定
- ・次世代自動車の普及



第3分科会 みなと総局 交通局 消防局 都市計画総局 産業振興局

- 田中 健造 (北区) たじ 裕規 (灘区)
- 大井としひろ (須磨区) 藤原 ともこ (北区)
- 井手 やすお (東灘区)

- ◆ 経済・雇用緊急対策の充実 関連予算627億円
- ◆ 活力のある産業のまちづくりの充実 関連予算815億円
- ◆ 安全・安心なまちづくりの充実 関連予算546億円

- ・西日本のハブ機能のさらなる強化(中国貨物、瀬戸内貨物の誘致など)
- ・スーパー中核港湾の実現
- ・吹付けアスベスト除去等補助制度の拡充
- ・第2次市営住宅マネジメント計画の策定
- ・緊急雇用創出事業
- ・ふるさと雇用再生事業
- ・中小企業販路開拓支援事業
- ・若年者就業支援の強化
- ・公園遊具の安全・安心対策の強化
- ・水難救助体制の強化など
- ・消防・救助体制の充実強化

